



海老江西小学校

所在地 〒553-0001 福島区海老江 8-1-10

電話番号 6451-3300

標準服 有り

校長名 栗山 功

ホームページ <https://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e531067>



学校概要

本校は令和6年に、創立110周年を迎えた歴史と伝統ある学校です。児童数147名と家族的な雰囲気で学べるのが特色です。また同じ敷地内に「海老江西幼稚園」が併設されており、幼小で一緒に実施する運動会などの行事や小規模校ならではのたて割りによるさまざまな活動は子どもたちの「心の教育」につながっています。通学区内にある「八坂神社」では、地車が巡行する夏祭りが盛大に行われます。人情味のある地域の方々に見守られて、子どもたちは素直にすくすくと育っています。

沿革

大正 3 年 大阪府西成郡鷺洲第三尋常小学校として開校
昭和 16 年 大阪市海老江西国民学校と改称
昭和 22 年 大阪市立海老江西小学校と改称
昭和 59 年 講堂およびプール竣工
平成 2 年 現在の校舎竣工
平成 26 年 創立 100 周年記念式典挙行
令和 2 年 学校情報化優良校認定
令和 3 年 エレベーター新設
令和 5 年 学校情報化優良校更新
令和 6 年 創立 110 周年祝い集会実施

児童数（令和 7 年 5 月 1 日現在）

学年	男子	女子	計	学級数
1	10	9	19	1
2	10	13	23	1
3	13	15	28	1
4	14	14	28	1
5	15	13	28	1
6	8	13	21	1
特別支援学級				3

令和 6 年度全国学力・学習状況調査および、全国体力・運動能力、運動習慣等調査

学力・学習状況

国語	算数
65	56

(平均正答率%) 小学 6 年生

これまでの成果と今後の課題

主体的で対話的な深い学びができる授業実践を今後も行っていきます。具体的には、総合的読解力育成カリキュラムに全校で取り組み、資料を読み取り、話し合い、まとめて、自分の言葉で発信していく力をつけていきます。また、算数では、つまづきが見られる児童一人一人に対応していきます。

今後も学校行事を充実させたり、全教職員で児童の見守りを行ったりすることで、「学校へ行くのが楽しい」と思える児童を増やしていきます。

全校児童が少しでも新聞に触れることができるように、これまでの新聞コーナーに加えて、新聞委員会の児童を中心ににお気に入りの新聞記事を玄関に掲示し、全校児童が登下校時に毎日新聞記事を目にすることができるようになっています。

体力・運動能力、運動習慣

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	13.75	21.50	32.25	41.25	50.13	9.48	140.13	22.75	51.75
女子	13.54	19.62	37.77	42.38	48.54	9.25	138.31	13.69	56.77

(平均値) 小学 5 年生

これまでの成果と今後の課題

「マット運動週間」「とび箱週間」「鉄棒週間」「なわとびタイム」「おおなわタイム」などの強調週間の設定や、児童が進んで体を動かしたくなるような体育授業での工夫、担任との「みんな遊び」、養護教諭による保健指導など、本校がこれまで取り組んできた「児童が運動に親しみ、運動好きになる」という取り組みが実を結び、男女共に体力・運動能力・運動習慣の向上がみられました。今後も引き続き、これまでの取り組みを進めていきます。

男女共に全国平均を下回った 3 種目(握力・長座体前屈・立ち幅とび)のうち、「握力」と「立ち幅とび」の 2 種目に大きな課題がみられました。よって、握力の向上に関しては、体育学習時に鉄棒運動に意識して取り組んでいきます。また、立ち幅とびの向上に関しては、瞬発力を意識した取り組みを行っていくとともに、ICT を活用して立ち幅とびのコツをつかませ、より良い動きになるように工夫していきます。

詳しくは本校ホームページをご覧ください。 福島区 海老江西小学校

海老江西小学校の教育

～学校教育目標～ 心豊かにたくましく生きる子どもを育てる



授業風景 ICT機器活用



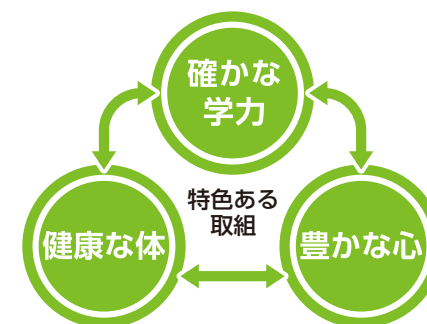
各階に読書スペース



防災教育(安全教育)



作品展



併設幼稚園との交流



運動会(幼稚園と一緒に)



地域との連携(夏祭ふれあいタイム)



春の全校遠足たてわり班での様々な活動



チャレンジタイム①(全校一斉の運動期間)



チャレンジタイム②(個別の指導)



林間学習(神鍋高原)

子どもたちどうしの「つながり」や先生との「つながり」、地域との「つながり」など人と人の「つながり」を大切にしたい教育を行っています。



修学旅行(鳥羽・伊勢)

運営に関する計画（一部抜粋）

安全・安心な教育の推進

●小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 88%以上にする。

●小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 87%以上にする。

未来を切り拓く学力・体力の向上

●小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。

●小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な回答をする児童の割合を 84%以上にする。

学びを支える教育環境の充実

●授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 61%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く]

●本市調査における、「学校図書館貸出冊数(児童 1 人当たりの年間貸出冊数)」を 50 冊以上にする。